

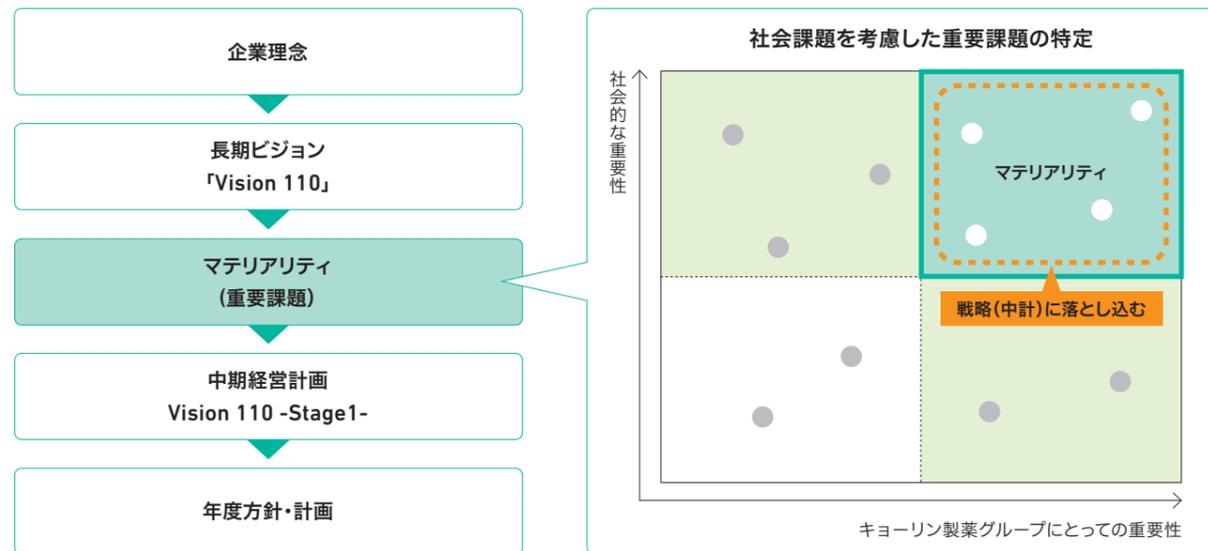
当社グループは、企業理念の具現に向け、新たに長期ビジョン「Vision 110(2023~2032年度)」を策定し、「医療ニーズに応える価値の高い新薬を継続的に提供する新医薬品事業を中核に据え、健康関連事業を複合的に展開し、人々の健康に幅広く貢献する企業」を目指しています。その実現のためには、社会的な価値と経済的な価値の創造が必要であり、企業の成長とともに持続可能な社会の実現に貢献することが重要であると考えています。サステナビリティ課題への取り組みについては基本方針を制定し、マテリアリティ(重要課題)を特定して適切な対応を行ってまいります。

サステナビリティの基本方針

当社グループは、企業理念のもと、企業行動憲章に基づく事業活動を通じてサステナビリティ課題(社会と企業の持続的発展)に積極的に対応することで、中長期的な企業価値の向上を図ります。

マテリアリティの特定

当社グループは、サステナビリティを巡る様々な課題の中から、社会的な重要性と当社グループにとっての重要性の2軸からマトリックスを作成し、長期ビジョン「Vision 110」において掲げる目指す姿の実現に向け、「価値創造(事業活動に直結する課題)」、「価値創造を支える基盤(事業活動の基盤に関わる課題)」の観点で優先的に取り組むマテリアリティを10項目特定しました。

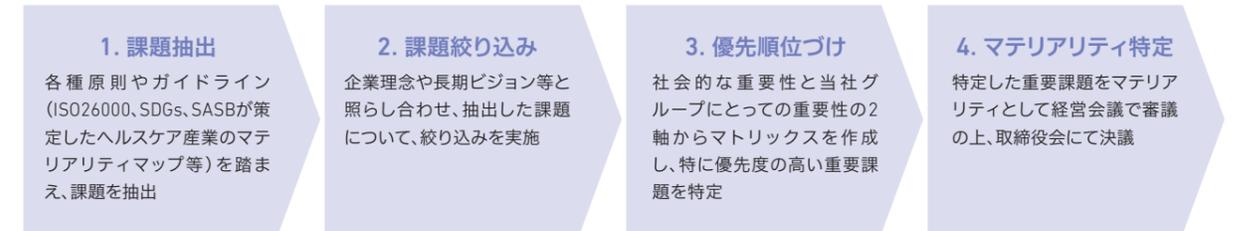


- | | |
|---------------------|---|
| 「価値創造」マテリアリティ | <ul style="list-style-type: none"> 医療ニーズに応える価値の高い製品の創出 製品価値の最大化 高品質な医薬品の安定供給 |
| 「価値創造を支える基盤」マテリアリティ | <ul style="list-style-type: none"> 人的資本の充実 多様な価値観を尊重した働き方改革の推進 健康経営の推進 環境に配慮した事業活動 コンプライアンスの徹底 コーポレートガバナンスの強化 ステークホルダーとの関係強化 |

マテリアリティの特定プロセス

当社グループの将来にわたる環境展望・分析を踏まえ、各種原則やガイドラインを参照し、以下のプロセスにてマテリアリティの特定を行いました。

なお環境変化や当社グループの事業活動、社会からの要請に応じて継続的に見直していきます。



マテリアリティ

	マテリアリティ	KPI	関連するSDGs
価値創造	医療ニーズに応える価値の高い製品の創出	<ul style="list-style-type: none"> 臨床開発マイルストーン 導入件数 	
	製品価値の最大化	<ul style="list-style-type: none"> 新薬比率 主要品目の売上 	
	高品質な医薬品の安定供給	<ul style="list-style-type: none"> 欠品発生数 製品回収件数 高岡工場の計画通りの進捗(定性) 	
価値創造を支える基盤	人的資本の充実	<ul style="list-style-type: none"> 働きがいアンケート主要スコア 人事制度の適切な運用・改善(定性) 	
	多様な価値観を尊重した働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> 女性管理職比率 男性育休取得率 障がい者雇用比率 	
	健康経営の推進	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断・ストレスチェック受診率 	
	環境に配慮した事業活動	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出量削減率 	
	コンプライアンスの徹底	<ul style="list-style-type: none"> 重大なコンプライアンス違反件数 	
	コーポレートガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンス・コードへの適切な対応(定性) 	
	ステークホルダーとの関係強化	<ul style="list-style-type: none"> 投資家とのエンゲージメント強化(定性) 	